

## 内 部 障 害 ・ 難 病

### 主な特性

腎臓機能障害、呼吸機能障害などの人は外見は障害がないように見えますが、疲れやすく、息切れがしたり、日常生活においても制約を受けていることがあります。

心臓機能障害で、ペースメーカーを埋め込んでいる人は、携帯電話等の電磁波で誤作用する恐れがあります。

直腸・膀胱障害の方は人工肛門・人工膀胱を造設しているため、排泄物を処理できるオストメイト対応のトイレが必要になります。

### 【オストメイトマーク】

オストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設している人）のシンボルマーク。

オストメイト対応トイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。



### 【ハート・プラスマーク】

からだの内部に障害のある人（内部障害者）をあらわしま



す。

外見から分かりにくいいため、このマークによって内部障害者に対する理解と配慮を求めています。

## 【ヘルプマーク】

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、または妊娠初期の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。



### 必要な配慮

- 症状に波があるので、症状に応じた柔軟な対応を行うようにしましょう。
- ペースメーカーや人工呼吸器などが必要なときには、それらの機器の使用について配慮しましょう。
- 体力低下がある人の場合、風邪などに感染しやすくなっています。病気をうつさないように接しましょう。
- 携帯用酸素ボンベを使用している場合、火気に近づくと大変危険です。喫煙所は、歩行者の動線からできるだけ離して設置します。歩きたばこの危険性にも留意

しましょう。

- 混雑した場所で携帯電話を使用すると、障害によっては命に関わることがあります。ルールやマナーを守って行動しましょう。

